２０１１年（平成２３年）６月３０日　木曜日

デーリー東北新聞　掲載

せんべい汁研究所の応援ソング

収録に八短大生参加

八戸せんべい汁研究所のサポータースタッフとして活動する八戸短期大学ライフデザイン学科の16人が28日、八戸市沼館3丁目のサウンドクリエイトで同研究所の応援ソングのレコーディングに参加した。

同科の学生は昨年9月に行われた「北海道・東北B―1グランプリin横手」でイベントに初参加。以来、各地のイベントで調理補助や販売を行っている。

応援ソングの制作は、八戸市出身の作曲家澤口和彦さんが協力を申し出たことから実現。「応援ソングに若い声を」という研究所の要望から学生が集まった。

レコーディングは3日間の日程で実施。研究所のメンバーやサポーター約60人が参加した。

最終日となったこの日は、作詞を担当した同市のリポーター中島美華さんの指揮に合わせ、学生が元気いっぱいに掛け声を収録した。

2年坂野篤志さん（19）は「初めてレコーディングに参加したが、とても緊張した」、2年岩浪由拓さん（19）は「思ったよりも声が出なかった」と貴重な体験に笑顔だった。

元気いっぱいに掛け声を収録する学生

デーリー東北新聞社提供